

第1回(仮称)古河市新公会堂基本構想・基本計画市民委員会 会議録

日時	令和5年7月13日(木) 10:00～11:40
場所	古河市役所 総和庁舎 特別会議室
出席委員	小林委員(委員長)、中野委員(副委員長)、渡辺委員、野村委員、峰委員、関根委員、楠田委員、今井委員、塚田委員、佐藤委員、稲葉委員、宮本委員、岡安委員、湯本委員、蘇武委員、柿沼委員、千野委員
欠席委員	蓮見委員、初見委員
事務局	針谷市長 企画政策部 野沢部長 プロジェクト推進課 細見課長、山中課長補佐、海老原係長
受託者	シアターワークショップ・日本工営都市空間設計共同体 株式会社シアターワークショップ(TWS) 小池、山本 日本工営都市空間株式会社(NKU) 福林、片山、矢野、若梅
内容	<p>1 開会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 委嘱状交付</p> <p>4 委員紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 座席表 <p>5 委員長、副委員長の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (仮称)古河市新公会堂基本構想・基本計画市民委員会設置条例 <p>6 諮問</p> <p>7 議題(1)(仮称)古河市新公会堂基本構想・基本計画市民委員会の設置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料1 市民委員会資料 ・ 資料2 検討報告書 ・ 資料3 検討報告書(概要版) ・ 資料4 市民委員会名簿 <p>(2)(仮称)古河市新公会堂の整備に向けた取組再開までの経緯について</p> <p>(3)(仮称)古河市新公会堂の整備に向けた検討報告書の概要について</p> <p>(4)今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料5 市民アンケート ・ 資料6 団体利用者アンケート <p>(5)未来の公立文化施設～施設整備の今までとこれから～について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料7 未来の公立文化施設 <p>(6)PPP/PFIによる施設整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料8 PPP/PFIによる施設整備・運営 <p>8 その他</p> <p>9 閉会</p>

【(仮称)古河市新公会堂基本構想・基本計画市民委員会】

(委員長挨拶)

小林委員長

新型コロナにより、便利になった反面、外での交流の機会が減り、人がこもりきりになるなどの弊害もあると実感しております。この委員会は良いタイミングで開かれたと思います。良い構想を作り、この(仮称)新公会堂が古河市の良い未来のためになっていくように検討していきたいと思ひます。

(各委員からの一言)

中野委員

教育現場に長くおりまして、合併以降に総合的文化施設整備事業に携わり、現場の声を反映して基本設計まで携わりました。教育事業に携わった者としても新公会堂は悲願でした。やっとこれで動き出せると思ひます。委員長がおっしゃった通り、古河市の未来のために、より良いものにしていきたいと思ひます。

渡辺委員

ご存じもない方もいらっしゃると思ひますが、昭和34年から10年経ち、旧公会堂ではだめだという意見があがったのがそれから10年後くらいでした。45年前に新たなものを建てようという話が持ち上がり、その後30年前と、直近では12年前くらいであわせて3度頓挫しました。また、最初に新公会堂の話が出てから50年経て実現しませんでした。今後は今回で終わりにしたいということをお願いいたします。

野村委員

文化的な側面もありますが、古河市ではコンベンションができる施設がないことが問題と思ひています。これだけの規模の都市なので、人を集められる場所が必要と思ひておりますので、ぜひ進めていきたいです。

峰委員

文化センターに関しては、合併以降進められてきましたが、色々な事情によって頓挫してしまいました。今回は実現できれば良いと思ひていますので、よろしくお願いいたします。

関根委員

団体としても、市内に集まって活動できる施設がないことを課題として感じていました。今回は、発表等ができる場となると伺っていますので、前向きに参加していきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

楠田委員

子ども・子育て会議の代表として参加しておりますが、仕事は舞台関係の音響関係を行っています。作ることも大切ですが、それをどう運営していくかということが重要と思ひていますので、古河市さんとお話していければと思ひます。よろしくお願いいたします。

今井委員

作ることそのものは賛成ですが、ユニバーサルサービスをいかにやっていただけるかが課題と思ひております。委員の一人として、意見を申し上げられれば良いと思ひますので、よろしくお願いいたします。

塚田委員

古河市も合併して14万人以上の市になりましたが、1000人以上入る文化施設がありません。色々な団体がつくばなどで開催していると思ひます。できるだけ早く実現していただければと思ひます。

佐藤委員

前回の新公会堂は、整備に130億円必要ということで、費用が掛かりすぎるといふこととなり頓挫しましたが、今回は議会も一致団結して(仮称)新公会堂を実現していきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

稲葉委員	11月に小山市の文化祭が小山市の文化センターで開催されていました。古河市では、1か所でやることができずに寂しいと思っていましたので、早く実現できればと思います。
宮本委員	ガールスカウトの活動をしています。子供たちに近くで本物を見せられるものを作ってあげたいと思います。本物を見るということは重要だと思います。よろしくお願いいたします。
岡安委員	前回の文化センターに関わり、そのための道路区画整理に関わっていたということから、学識経験者という名目で選ばれたのかと思います。古河市には、ここに施設があるといえなかったのがこれまで残念でしたし、全国大会や関東大会を開催するとなっても場所がなくて開催できませんでした。早く、名だたるものを作って頂ければと思います。よろしくお願いいたします。
湯本委員	市民が一人でも多く利用ができればと願っております。よろしくお願いいたします。
蘇武委員	母親の認知低下が進み10年前に古河に越してきました。それ以前はさいたま市の旧浦和に住んでおりましたが、10年経って古河市を振り返りたいなと思い、参加しました。皆さんのお役にたてればと思いますので、よろしくお願いいたします。
柿沼委員	一般公募で選ばれました。皆さんと楽しくお話していきたいです。音楽の仕事をしており、旧公会堂の舞台に何度も立ったことがあります。古かったです。講師をしている中で、ピアノや音楽の発表会を古河市で開催したいのですが、実際音響がきちんとしている施設が一つもありません。古河に住みながら、北川辺や野木、栗橋など県外で発表会を開催せざるを得ない状況でした。今回委員会に参加できるようになったので、ぜひ進めていきたいです。よろしくお願いいたします。
千野委員	生まれも育ちも総和で、ボーイスカウトをやっておりました。関根理事長がやっておられるまちづくり運動にも参加していましたが、古河市には活動できる場所がないと感じておりましたので、皆さんと進めていければと思います。よろしくお願いいたします。
小林委員長	委員の皆さまありがとうございました。皆さんのお言葉から、古河市の状況をよく知ることができました。
事務局 小林委員長	<p>《議事》</p> <p>(1)(仮称)古河市新公会堂基本構想・基本計画市民委員会の設置について</p> <p>(2)(仮称)古河市新公会堂の整備に向けた取組再開までの経緯について</p> <p>(3)(仮称)古河市新公会堂の整備に向けた検討報告書の概要について</p> <p>(4)今後のスケジュールについて</p> <p>資料に基づき説明</p> <p>委員の皆様より、ご意見・ご質問等ありますでしょうか。</p> <p>意見なし</p>
事務局	<p>(5) 未来の公立文化施設～施設整備の今までとこれから～について</p> <p>資料に基づき説明</p>

小林委員長	劇場・文化施設に色々な変遷があったというお話でした。ご質問等はございますか。
野村委員	最初のお話の中で、今まで関わられた施設の中で200程の施設は実現し、実現に至らなかったものも含めると1000程度あると伺いました。800は実現しなかったということかと思いますが、完成に至らなかった原因として特徴的なものがあれば教えていただきたい。
TWS	政治的なことや、首長さんの交代にあわせて中止になったり、震災によりストップして計画が止まってしまったりと、色々な要因がございます。
小林委員長	これから学んでいく機会もありますので、疑問が浮かんだ段階で聞いていただければよいと思います。
事務局	(6) PPP/PFIによる施設整備について 資料に基づき説明
小林委員長	委員の皆様より、ご意見・ご質問等ありますでしょうか。
千野委員	想定できる代表的な事業手法として、今回の(仮称)新公会堂はどのような方式を採用する予定なのでしょう。
事務局	事業手法はまだ決まっておりませんが、今回は勉強会の意味も含めて、情報として色々な手法を提供させていただきました。官民連携といっても具体的にどのように進めたらよいのかまだ明らかでない状況で、今回は官民連携手法の可能性調査を委託内容に含んでおります。また、(仮称)新公会堂の方向性として、何を決めていけば民間活力を活用できるかということもあります。 なお、事務局から(3)今後のスケジュールの中で市民委員会の開催予定をご説明しましたが、12月に最初に公表を目指しているのが、建設候補地となります。この場所で新公会堂を建てるとなったときに、民間事業者として可能性があるのか、というところを今後伺っていき、皆さんにも共有していきたいと思っております。
中野委員	最初の皆さまからの一言の中で、佐藤委員より、前回の新公会堂予算が130億だったと伺いました。当時、吹奏楽の団体の意見等も伺い、その意見を集約・反映して基本設計を行った経験がありましたが一部しか携わっておりませんでした。そこで伺いたいのですが、前回の検討は公設公営の想定だったのか、もしくは他の手法だったのでしょうか。
事務局	前回、平成24年に検討していた中では、公設公営で検討しておりました。財源として、合併特例債を想定しており、新公会堂のほかに図書館も併設するという想定でございました。
渡辺委員	文化施設としては、今まで3回頓挫しております。その経緯としては、市長の対抗馬に整備費用が掛かりすぎるのではないかと指摘されました。今回進めるにあたって、同じ

事務局	<p>失敗を繰り返すわけにはいかないので、事務局の方でも対策をお願いしたいと思えます。失敗の事例をよく研究して頂きたいと思えます。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。資料2 検討報告書においても、過去の失敗例が議論となっております。その中で挙げた一つが官民連携手法ということで、民間資金や知恵をどのようにしたらお借りできるのか、ということを検討するため、業務委託をお願いしております。前回の反省を踏まえた形で進めて参りたいと思えます。</p>
小林委員 NKU	<p>PFI が活用できない場合の主な例は、どのようなものになるのでしょうか。</p> <p>VFM が出なかった場合、もしくは、民間事業者に関心を持たれなかった場合がござえます。地理的な条件の問題や、行政が提示する条件が厳しすぎて合わないという要因が考えられます。</p>
宮本委員	<p>今回の話を同年代の人としたら、お金がかかるから古河市には必要ないという意見がありました。お金がかかり、税金が子供たちの負担となって大変だという話が市民の間に出回らないように、古河市民が同じ方向を向いていけるように古河市でも訴えて頂きたいです。</p>
小林委員	<p>お金がかかって大変であることは間違いありません。大変かもしれませんが、将来に渡って市民が楽しい思いができたり、文化的活動ができて、住んでいてよかったなど感じられたり、こういう効果があるということを示す必要があると思えます。運営費も必要で、これがないと運営してけません。これらを理解した上で、市民の皆さまに応援してもらえよう説明やワークショップ等が必要です。</p> <p>実際、この先開催が計画されていると思えますので、皆さまにもこの部分ご協力いただきたいと思えます。</p>
事務局	<p>(その他 今後のスケジュール)</p> <p>事務局より今後のスケジュールをご説明します。</p> <p>第2回委員会は、10月17日(火)14時古河庁舎の特別会議室で予定しております。</p> <p>第3回委員会は、11月21日(火)14時総和庁舎の特別会議室で予定しております。</p> <p>委員会の開催通知を1か月前に送付いたします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>